SEIKO

掛 時 計

電波クロック

取扱説明書

このたびはセイコークロックをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なおこの取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

特 長

★ 東西電波（福島・九州）を自動選局
★ 標準電波を受信して現在時刻を表示する電波修正機能付き
【電波を受信できない場合でもクオーツ時計としてお使いいただけます】
★ 毎正時を高音質のチャイムまたはメロディでお知らせ

■チャイム　：　ウエストミンスターチャイム
■メロディ

		曲名
１・　７時	：	グリーンスリーブス
２・　８時	：	花
３・　９時	：	思い出
４・１０時	：	愛する小鳥よ
５・１１時	：	埴生の宿
６・１２時	：	ダニーボーイ

■数取り（時打ち）
毎正時チャイム・メロディの後に数取り、または数取りのみを鳴らすことができます。

必ずお守りください。 安全上のご注意 ▶

⚠ 注 意

＜掛け方について＞
時計は確実に掛けてください。
落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。
掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は掛け具に同梱の案内文も必ずお読みください。
記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。

※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く動かし、正しく掛かっていることを確認してください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき
添付の木ねじをご使用ください。

石膏ボードの壁に掛けるとき
添付の掛金具、釘をご使用ください。

コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき
添付の掛け具は使用しないでください。
市販の掛け具をご使用ください。

⚠ 警 告

＜アルカリ電池について＞

(1)ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。

(2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、 直ちに医師の治療を受けてください。

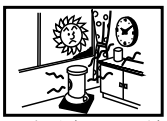
＜梱包用ポリ袋について＞

梱包用ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

必ずお読みになってからご使用ください。 使用場所・お手入れ ▶

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。
機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。


暑い場所（＋50℃以上）

寒い場所（－10℃以下）

振動の激しい場所

湿気の多い場所

●温度が＋50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外。暖房器具などの熱風や火気に近い所。
●温度が－10℃（氷点下10度）以下になる所。
プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。
●塵、埃の多い所。
空気中に舞い上がったごみが歯車に挟まって時計が止まることがあります。
●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。
●浴室など湿気の多い所。
●振動の激しい所。
●ビニール系素材の壁や敷物等について
壁や敷物および時計を汚したり、傷めることがあります。
●工場、台所など多くの油を使用する所。
霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。
●木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。
また、４０度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きる場合があります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、２・３年に一度の点検・調整（有料）をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

プラスチック枠の時計の場合

●枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

木枠・金属枠の時計の場合

●よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

⚠ 注 意

＜電池について＞

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

(1) ⊕ ⊖ を正しく入れてください。

(2)製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。

(3)この電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。

(4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。

(5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。

(6)時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリ-ニングしてください。

(7)添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

電波クロックについて

■電波修正機能とは

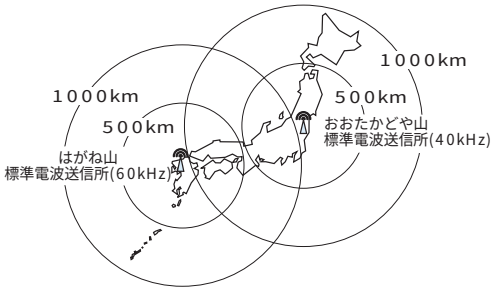
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

情報通信研究機構（ＮＩＣＴ）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内２ヵ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。
標準電波の時刻情報はおよそ１０万年に１秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。

■電波受信について

各々の送信所からの受信範囲の目安は、条件により異なりますがおおむね１０００ｋｍ～１２００ｋｍです。
個別の状況により異なりますが、東日本地域は４０kHz（福島送信所）、西日本地域は６０kHz（九州送信所）の電波がより受信しやすいものと想定されます。この製品は４０kHz，６０kHzのいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。
ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。

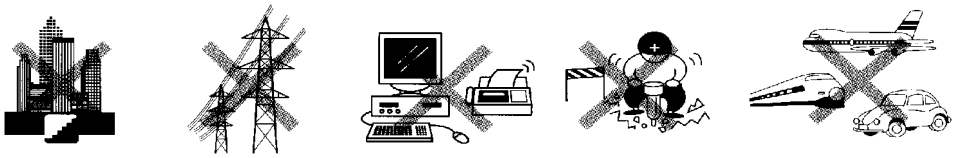


■ご注意

●電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このようなときは、場所を変えてお使いください。
●電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
●標準電波は、毎時15分と45分からの各１分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。
また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、当社ホームページをご覧になるか、お客様センターにお問い合わせください。（ホームページアドレス http://www.seiko-clock.co.jp）

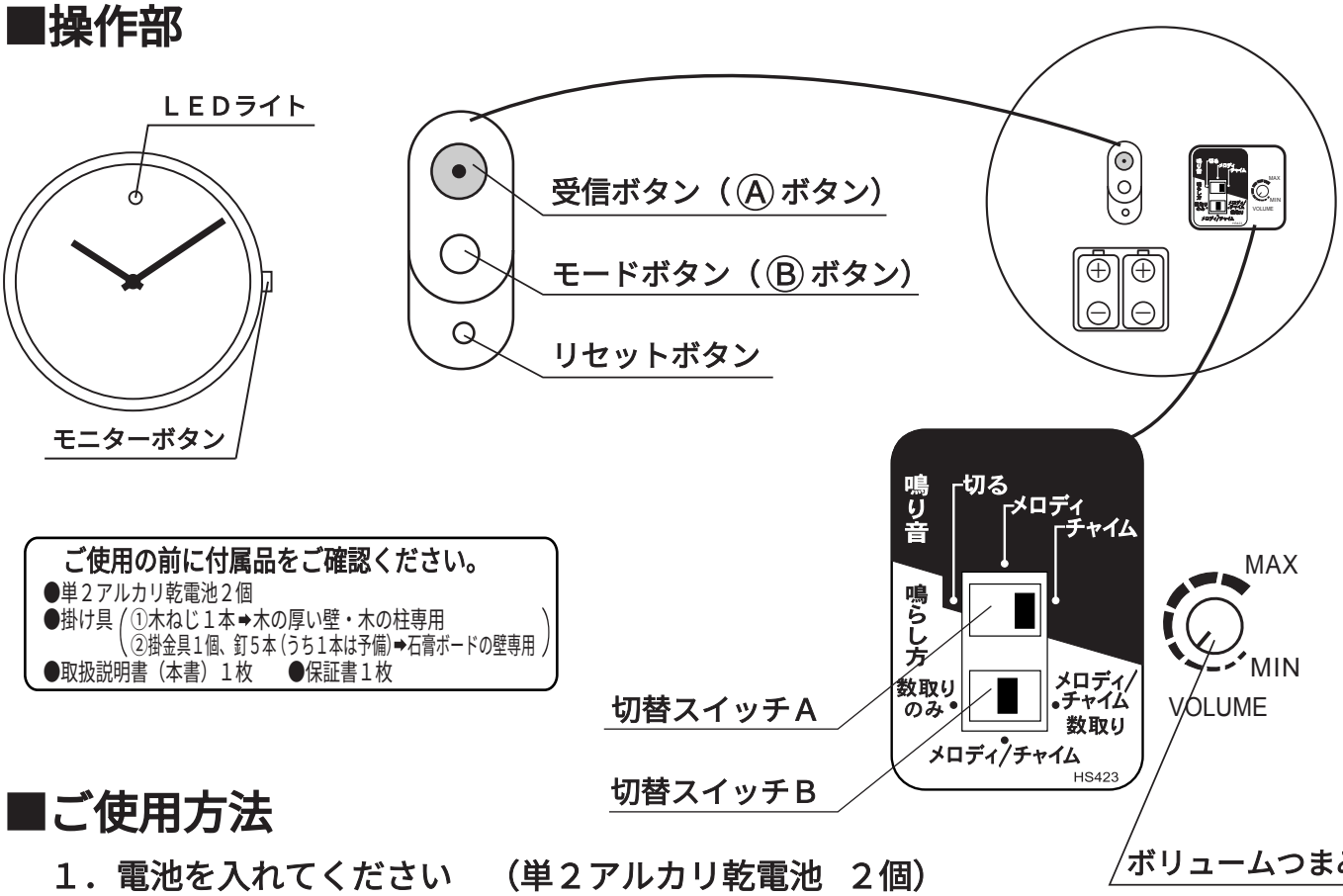
■電波受信について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。電波ノイズを発生させるものの近くでのご使用は避けてください。その他、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
●ビルの中、ビルの谷間、地下。
●高圧線、テレビ塔、電車の架線、自動販売機の近く。
●テレビ、エアコン、冷蔵庫、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
●工事現場、空港の近く、軍事基地や交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
●乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）。
●スチール机等の金属製の家具の上や近く。



ご使用方法 ▶ 時計のデザインにより電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。

■操作部



ご使用の前に付属品をご確認ください。
- ●単２アルカリ乾電池２個
- ●掛け具（①木ねじ１本➡木の厚い壁・木の柱専用 ②掛金具1個、釘5本(うち1本は予備)➡石膏ボードの壁専用）
- ●取扱説明書（本書）１枚　●保証書１枚

■ご使用方法

１．電池を入れてください　（単２アルカリ乾電池　２個）

⊕ ⊖をまちがえないように注意してください。

２．リセットボタンを押してください

受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。

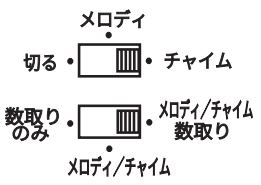
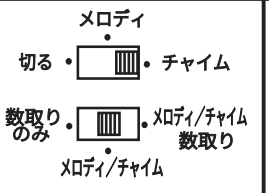
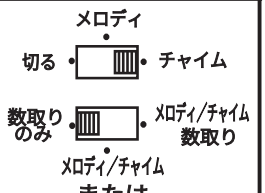
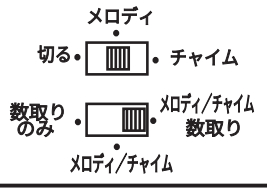
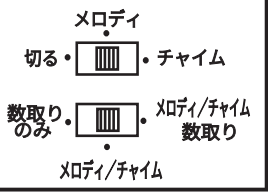
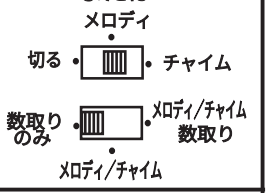
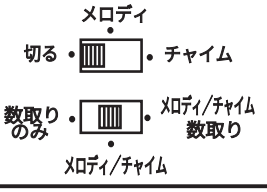
●秒針が「１２時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、電波受信を開始します。

（1:50，3:10，5:50，6:10，8:30，9:10，11:10，12:10）

注）**電池交換時は、必ずリセットボタンを押してください。**

３．チャイム、メロディ、数取りを設定をしてください。

① 切替スイッチＡ、Ｂでチャイム、メロディ、数取りの設定をしてください。
スイッチの位置により以下のようになります。

	チャイムまたはメロディのあと数取りを鳴らす	チャイムまたはメロディのみを鳴らす	数取りのみを鳴らす
チャイムを鳴らす			
メロディを鳴らす			
鳴らさない		切替スイッチＢの位置にかかわらず、チャイム、メロディ、数取りは鳴りません。	

② メロディ操作部のボリュームつまみをまわして、音量を調節してください。
ＭＡＸ──音量　最大
ＭＩＮ──音量　最小

４．時計を設置してください

本機を使用したい場所に掛けてください。この際、窓際などできるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

●受信中（最長約２０分間）はＬＥＤライトが信号に応じて点灯します。
（「■受信状態について」をご覧ください。）

●受信に成功した場合
ＬＥＤライトが“緑”で点滅し、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。その後「０秒」に合わせて秒針が動き出します。
秒針の位置確認が終わるまでＬＥＤライト点滅が数分間続きます。

●受信できなかった場合
ＬＥＤライト消灯後、ただちに針が動き出します。
このとき時分針の時刻修正は行いません。

「■電波が受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

その他の機能 ▶

■ 受信状態について

リセット後の受信中、または強制受信中は、以下のようにＬＥＤライトの色によって受信状態を表示します。
ただし自動受信中はＬＥＤライトは点灯しません。

ＬＥＤライトの状態	受 信 状 態
“緑”が点灯	電波状態が良く受信可能
“緑”が点灯し、たまに“赤”が点灯	電波状態が比較的良く受信成功の可能性がある
“赤”と“緑”が同じくらいの割合で点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が低い
“赤”が点灯し、たまに“緑”が点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い
“赤”が点灯	電波状態が悪く受信不可能 （受信開始後最初の約2秒間は必ず“赤”が点灯します）

■ 受信結果について

通常運針中に受信ボタンを1回押す（２秒以下）と以下のようにＬＥＤライトの色によって電波受信結果を表示します。
“緑”が点滅：２４時間以内に受信に成功しています。
“赤”が点滅：２４時間以内に一度も受信できていません。

■ 自動受信について

毎日８回、自動で電波受信を行ないます。
受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。

●受信中（最長約２０分間）は針が不規則な動きをすることがあります。
秒針：１２時の位置で停止
分針：約３０秒毎に運針

■ 電波が受信できなかった場合

１．電波を強制的に受信して時刻を合わせてください

受信ボタン（Ⓐボタン）を２秒以上押し続けると針が停止し受信を開始します。
受信に要する時間は、最長約２０分間です。

●受信中は、ＬＥＤライトが信号に応じて点灯します。
（「■受信状態について」をご覧ください。）

●受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えてもう一度受信させてください。

●詳しくは（電波クロックについて）をご覧ください。
また、１日の内で夜間のほうが昼間にくらべて比較的受信状態が良くなりますので昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

２．手動で時刻を合わせることができます

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

① モードボタン（Ⓑボタン）を２秒以上押すと、針が停止します。
② 受信ボタン（Ⓐボタン）を１回押すと、分針を１分づつ送り、押し続けるとボタンを放すまで、送り続けます。
③ モードボタン（Ⓑボタン）を押すと同時に、針が動き出します。

■ 受信中・報時中の操作について

受信中・報時中の操作は以下のようになります。

操作／動作	鳴り止め（切替スイッチA→切る）	試し鳴らし（モニター）	強制受信	受信結果表示
報時中	音が鳴り止まる	チャイムを演奏する	受信を開始する	受信結果を表示する
試し鳴らし中	音が鳴り止まる	次の曲を演奏する	無　効	受信結果を表示する
自動受信中	―――	チャイムを演奏する	受信を中断する	受信結果を表示する
強制受信中	―――	無　効	―――	無　効

■ 試し鳴らし（モニター）について

モニターボタンを押すと、チャイムを演奏したあとに数取りを３回行ないます。
試し鳴らし中に再度モニターボタンを押すと、次の曲を演奏します。

●試し鳴らし中に次の曲を聞くときは数取りの前にモニターボタンを押してください。
数取り中にモニターボタンを押した場合は１曲目のチャイムに戻ります。
●強制受信中は試し鳴らしはできません。
●試し鳴らしを途中で止めるときは、切替スイッチＡを一旦**チャイム**または**メロディ**に合わせてから**切る**にしてください。

■ 光センサーによる自動鳴り止めについて

暗い所（約１０ルクス以下）では、報時は致しません。
暗い所では、チャイムやメロディの音を気にすることなくおやすみになれます。

■ 自動受信を止めるには

この時計には下記手順により、自動受信を止める機能があります。
（誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合などにご使用ください。）

① 受信ボタン（Ⓐボタン）とモードボタン（Ⓑボタン）を同時に押しながら、リセットボタンを一度押してください。
② ＬＥＤライトの“赤”と“緑”が５回同時に点滅したら受信ボタン（Ⓐボタン）とモードボタン（Ⓑボタン）を放してください。
③ 秒針が「１２時の位置」で停止後、時分針が動き出します。
④ 秒針が再び動き出したら、「２．手動で時刻を合わせることができます」にしたがって時刻を合わせてください。

●この機能を設定した後も受信ボタン（Ⓐボタン）を２秒以上押すと強制受信を開始しますが、その後自動受信はしません。
●この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

■ ご注意

●この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
●電池交換時は、必ずリセットボタンを押してください。

故障かな？と思ったときには ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお電池は買い置き品でなく、新規購入品をご使用ください。

症　状	考えられる原因	処　置
針が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池端子や接片が汚れている。 ・静電気などによりマイコンが誤作動している。 ・受信中または時刻修正中である。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・電池端子や接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて２～３回まわしてください。 ・リセットボタンを押してください。 ・受信終了後、通常の運針に戻ります。
針が不規則に動く	・受信中または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。
スイッチ操作が効かない	・受信に成功し、時刻修正中である。 ・リセット後、受信動作中である。	・時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。
時刻が合っていない	・受信が成功していない。 ・電池が古くなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・「■電波が受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・確実にリセットボタンを押してください。
メロディが鳴らない	・切替スイッチＡが**切る**になっている。 ・ボリュームが下がっている。 ・暗くなりセンサーが作動している。	・スイッチを**チャイム**または**メロディ**にしてください。 ・ボリュームを上げてください。 ・センサー付の時計は暗くなるとメロディは鳴りません。時計の周囲が明るくなると鳴ります。

■製品仕様

●精　　度：平均月差±２０秒（気温５℃から３５℃で使用した場合）
（電波受信による時刻修正を行なわない場合）
●表　示　精　度：±１秒（時分針は±３度）（電波受信による時刻修正を行なった直後）
●使 用 温 度 範 囲：－１０℃～＋５０℃
●使　用　電　池：単2アルカリ乾電池２個（ＪＩＳ規格 ＬＲ14）
●電　池　寿　命：約１年
●電 波 受 信 機 能：自動受信 １日８回 (2:00, 5:00, 8:00, 11:00, 14:00, 17:00, 20:00, 23:00)
受信から、次回の受信まではクオーツの精度で動きます。
手動受信(強制受信)
※４０ｋＨｚ，６０ｋＨｚのいずれか受信しやすい電波を自動受信します。
●受信結果確認機能：ボタン操作により自動受信結果を受信確認ライトで表示
●時 刻 合 せ 機 能：電波受信による自動セットまたは、時分針手動セット
●報　　時：①毎正時チャイム
②毎正時メロディ
③毎正時チャイム ＋ 数取り
④毎正時メロディ ＋ 数取り
⑤毎正時数取りのみ
①～⑤の切替式
●夜間鳴り止め機能：光センサーにより自動鳴り止め
●音　量　調　節：無段階式
＊上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証・アフターサービス ▶

●この時計はメーカー保証です。
保証の内容については別添の保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
●保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
●保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
●この時計の修理用部品は、７年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。
●修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
●保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。
●保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいただきます。修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。

●ご不明の点は下記お客様センターにお問い合わせください。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。
（例：ＡＭ○○○、ＰＷ○○○、ＫＧ○○○など）

フリーダイヤル
お客様センター　0120-315-474

発売元
セイコークロック株式会社

Printed in Japan ⓖ
説明書番号　ZHS-042J